愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合野外活動実習Ⅰ		
担当者(Instructors)	中野 匡隆	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択
			実務家教員科目(Pro teacher course)

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

野外活動実習Ⅰにおいては日常生活から離れて大自然の中で自然の諸条件に対処しながら活動を行うものである。本授業では、野外において集団で生活するための基本的な知識や技術を自然の中で直接体験して習得することをねらいとする。また、野外での活動を通して、自然環境や人間とのかかわりについて様々な観点から考え、課題を発見し解決するための行動ができる態度や技術を養う。キャンプの目的や意義、ルールやマナーといったキャンプの特性、自然環境や安全などについては事前に講義を行い、キャンプの計画や準備についてはグループで協力して行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	グループを作り、キャンプの計画、準備、活動についてデスカッション、グループワークを実施する。これらを実技形式で集中講義を行う。
当該科目と実務との関係(Relationship between cource and practice)	キャンプディレクター１級（公益社団法人日本キャンプキャンプ協会）の資格を持った担当教員から、キャンプインストラクターの資格取得が可能な内容を学ぶ。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要説明	本授業の概要のを理解する	□
第2回	キャンプの特性：キャンプの目的と意義	対象に応じたキャンプの目的や意義について理解する	□
第3回	キャンプの特性：キャンプの組織と種類	キャンプを運営する際の組織の在り方やキャンプの種類について理解する	□
第4回	キャンプの特性：キャンプのルールとマナー	キャンプのルールやマナーについて、実際の活動を通して学ぶ	□
第5回	キャンプの特性：キャンプと環境教育	キャンプと環境教育について、実際の活動を通して学ぶ	□
第6回	キャンプの対象：人間の理解　自然の理解	キャンプの活動を通して、人間と自然についての理解を深め、どのように共存しているのかを学ぶ	□
第7回	キャンプの対象：テント設営	キャンプ活動の中でテントの設営方法、設営場所などを学ぶ	□
第8回	キャンプの指導：アイスプレイキングゲーム	アイスブレイキングゲームについて参加、、指導の体験をする	□
第9回	キャンプの指導：アウトドアクッキング	キャンプサイトに応じたアウトドアクッキングを実践する	□
第10回	キャンプの指導：イニシアティブゲーム	イニシアティブゲームの理論と目的を学ぶとともに実際に体験する	□
第11回	キャンプの指導：ネイチャーゲーム	ネイチャーゲームの目的を理解するとともに実際に体験する	□
第12回	キャンプの指導：ハイキング	実際に登山を体験する中で、ルールやマナーを学ぶ。また、登山での危険や楽しみについても体験的に学ぶ	□
第13回	キャンプの指導：キャンプファイヤー	キャンプファイヤーの目的について学ぶとともに、実際に参加者、指導者として体験する	□
第14回	キャンプの安全：リスクマネジメントの考え方と実際	キャンプのリスクマネジメントの考え方を学び、実際に事故が起きた場合の対応についても学ぶ	□
第15回	まとめ	実習を通しての心の変化や、学んだことをふりかえり、シェアする	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【事前学習】 ガイダンス、事前研修、事前課題に取り組む（４５分程度）。 【事後学習】 野外活動（キャンプ）で学んだこと、気づいたことを実習ノートに記録する（１５分程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

事前課題は、メントをつけて返却をし、期限内であれば何度でも提出を認めます。 実習ノートは、コメントをつけて返却をする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	野外活動（キャンプ）を通じて、集団生活に必要な知識、技術を自然の中で習得する。また、自然環境や人間とのかかわりについて様々な観点から考え、課題を発見し解決するための行動ができる態度や技術を養う。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

事前学習２０%、実習ノート２０%、実技試験２０%、筆記試験２０%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『キャンプ指導者入門』社団法人日本キャンプ協会	9784904008157
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		